

長野県の金融経済動向

(2026年9月4日)

【概 況】

長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。

この間、生産は持ち直している。雇用・所得は改善している。

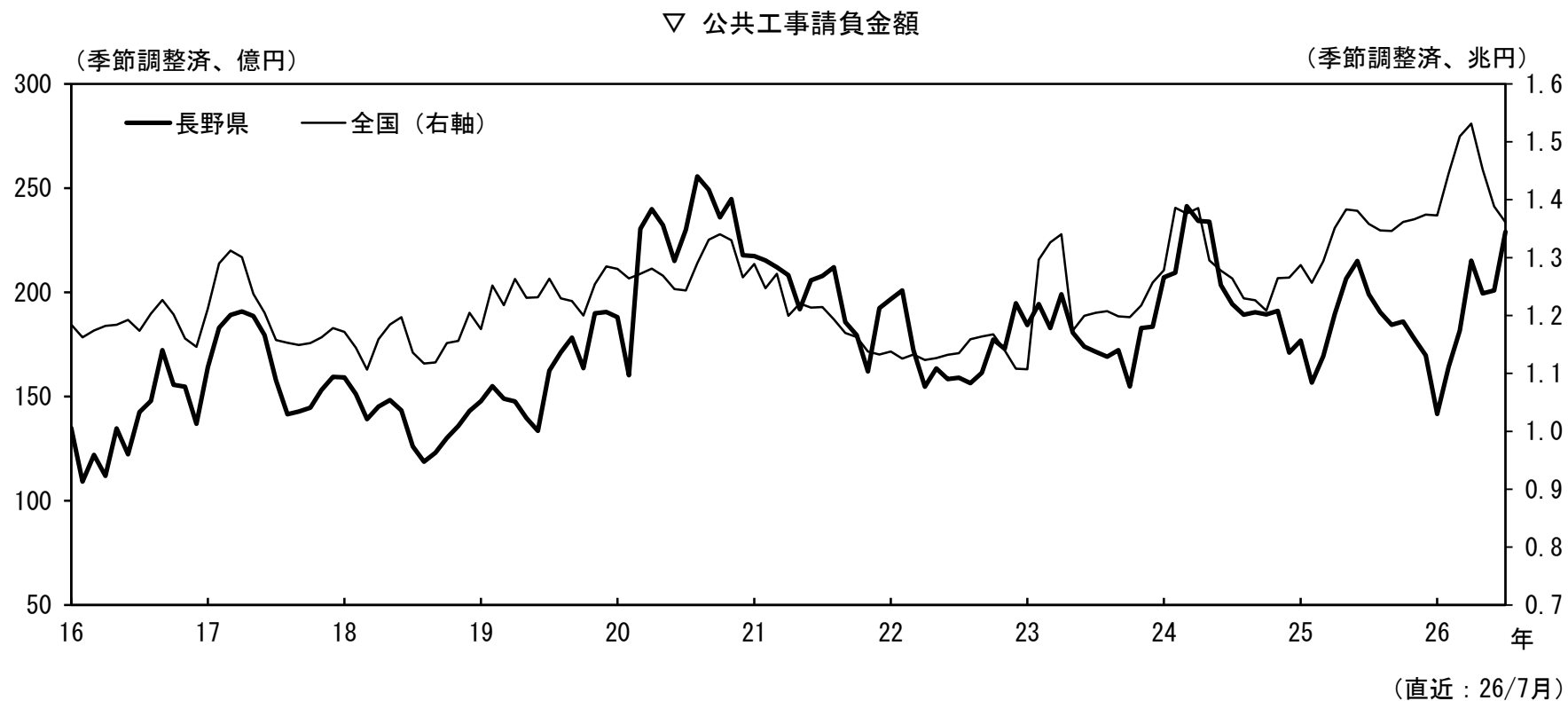
【前回からの変化】

26/7月	26/9月
長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。 ・設備投資は増加している。 ・個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。 ・住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。 ・公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。 ・生産は持ち直している。 ・雇用・所得は改善している。	長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。 ・設備投資は増加している。 ・個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。 ・住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。 ・公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。 ・生産は持ち直している。 ・雇用・所得は改善している。

1. 実体経済

公共投資

公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。



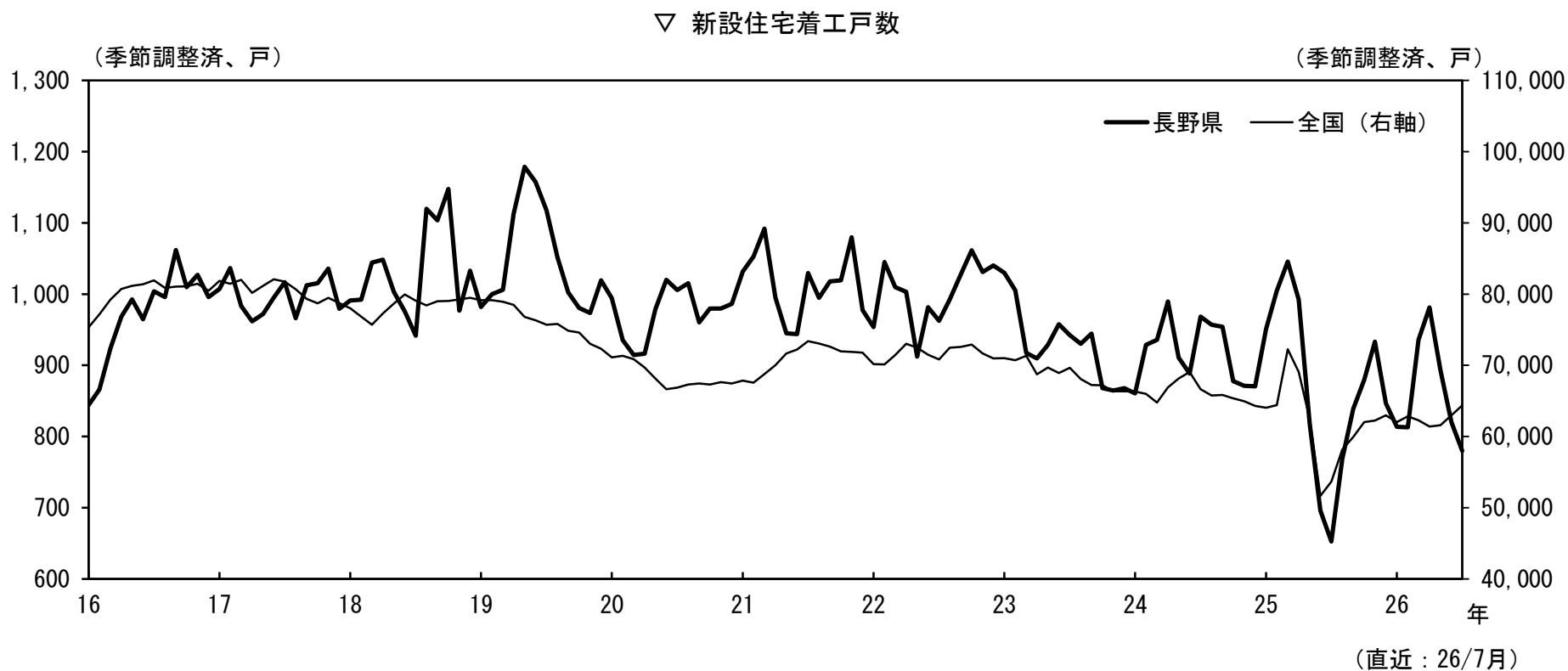
(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。



(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

1. 実体経済

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、26年度は前年度を上回る計画となっている。

輸出は、26年度は前年度を上回る計画となっている。

企業収益は、26年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県	▽ 設備投資額 (前年度比、%)			▽ 輸出(売上高) (前年度比、%)			▽ 経常利益 (前年度比、%)		
		25年度	26年度 計画		25年度	26年度 計画		25年度	26年度 計画
	製造業	6.3	35.6	製造業	- 7.2	4.0	製造業	- 46.3	2.6
	非製造業	- 2.6	- 7.0				非製造業	22.6	- 9.8
	全産業	4.6	28.1				全産業	- 34.8	- 1.3

全国	▽ 設備投資額 (前年度比、%)			▽ 輸出(売上高) (前年度比、%)			▽ 経常利益 (前年度比、%)		
		25年度	26年度 計画		25年度	26年度 計画		25年度	26年度 計画
	製造業	9.5	7.5	製造業 <大企業>	1.9	3.9	製造業	5.5	- 6.3
	非製造業	9.3	6.4				非製造業	8.2	- 6.6
	全産業	9.4	6.8				全産業	7.1	- 6.5

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(26/6月)」

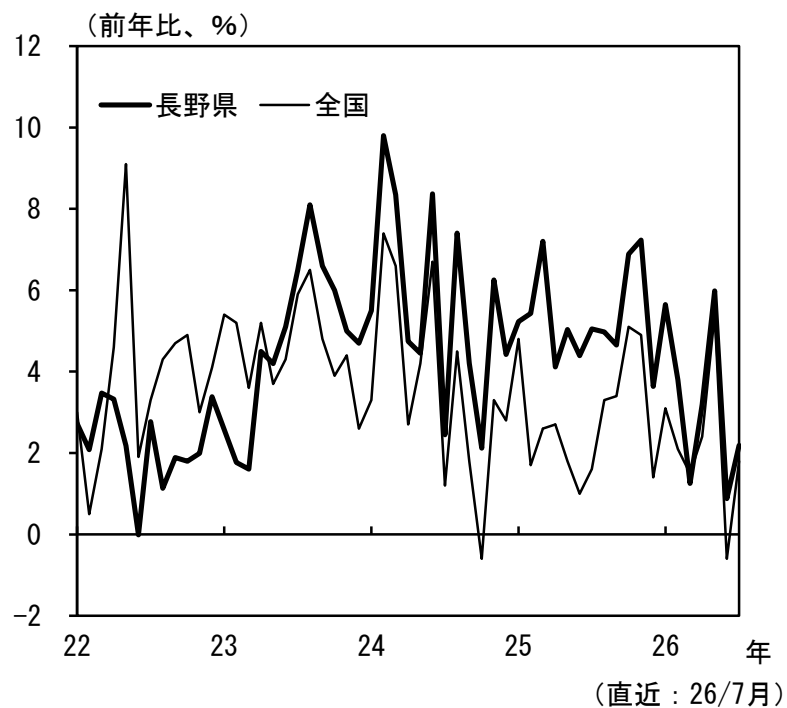
1. 実体経済

個人消費

個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。

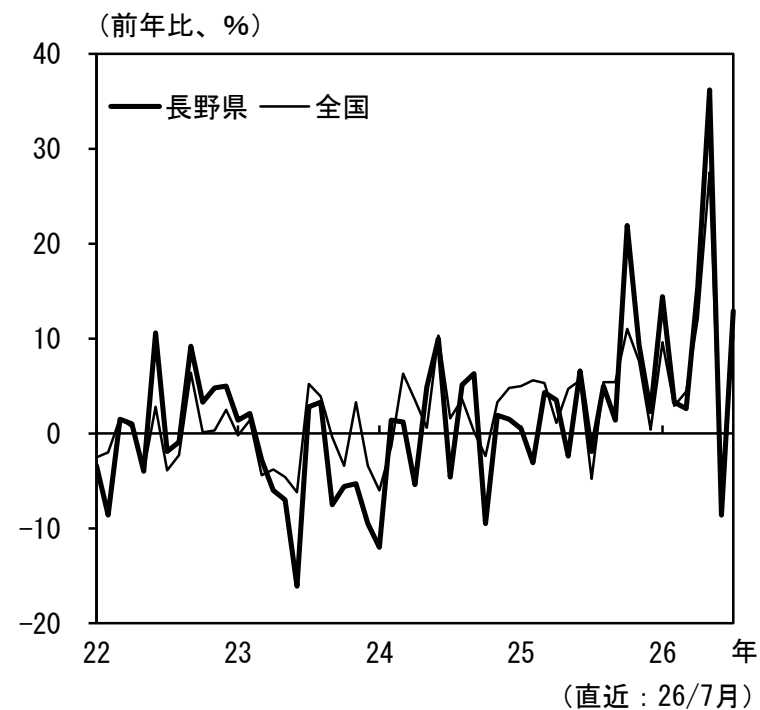
県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ＜店舗調整前＞）は緩やかに増加している。家電販売額は増加している。新車登録台数およびサービス消費は横ばい圏内の動きとなっている。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



（出所）長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額

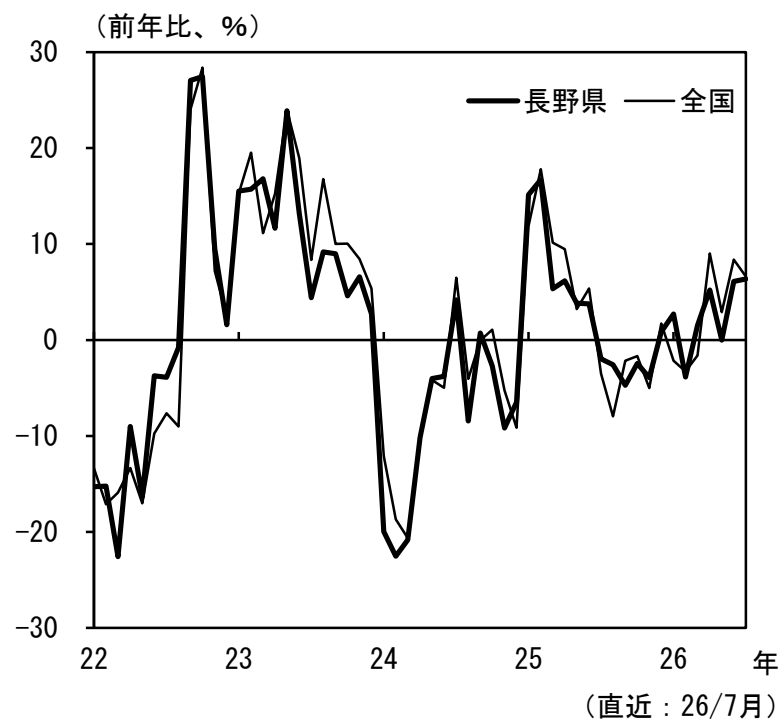


（出所）経済産業省「商業動態統計」

1. 実体経済

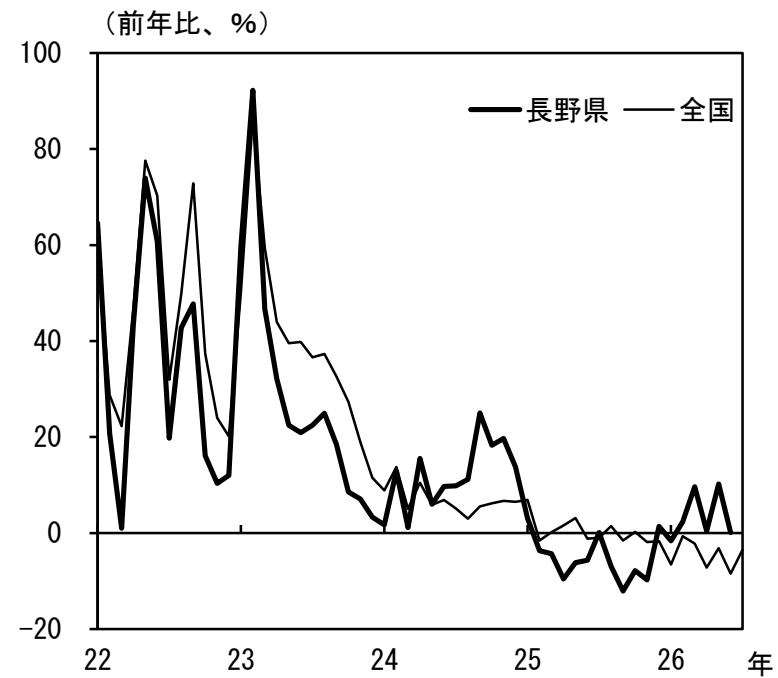
個人消費

▽ 新車登録台数



(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

▽ 延べ宿泊者数



(注) 過去のデータを遡及改定。

(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

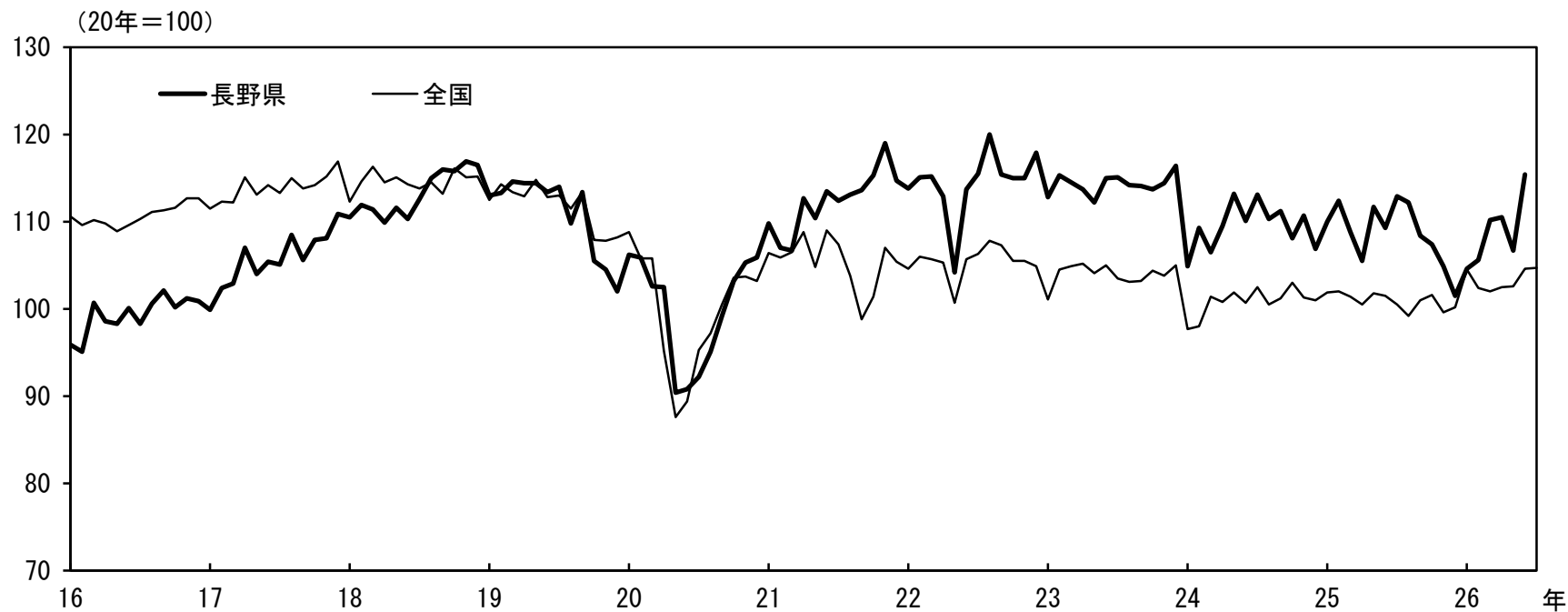
1. 実体経済

生産

生産は持ち直している。

半導体関連・電子部品等は持ち直している。自動車関連は一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。機械・同関連部品等をみると、計器は増加している。成形機は増勢が鈍化している。工作機械は持ち直している。バルブは横ばい圏内の動きとなっている。飲料は横ばい圏内の動きとなっている。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



(直近：長野県=26/6月、全国=26/7月)

(出所) 経済産業省、長野県「鉱工業指数」

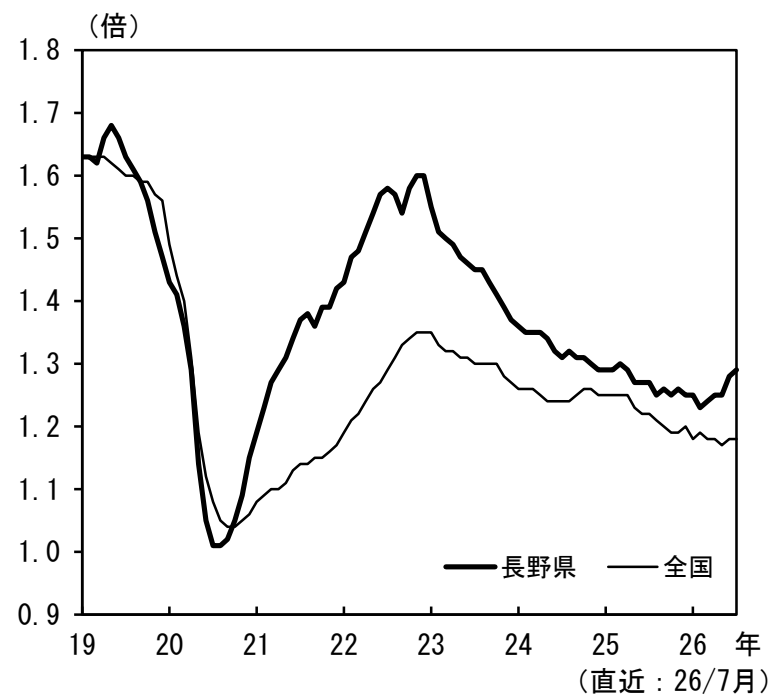
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は改善している。

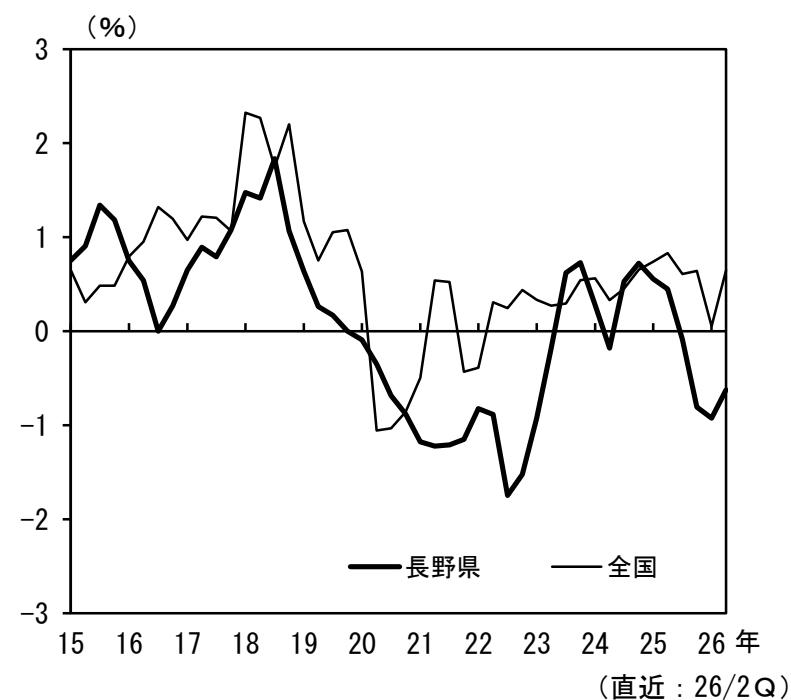
有効求人倍率は、足もと横ばい圏内の動きとなっている。就業者数は、足もと減少している。所定内給与および賞与は、増加している。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 就業者数（前年比）

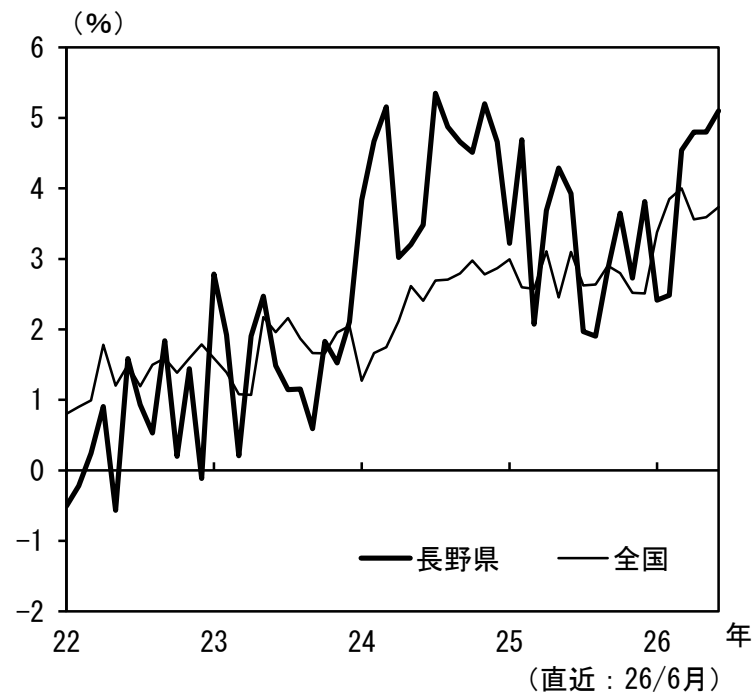


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

雇用・所得

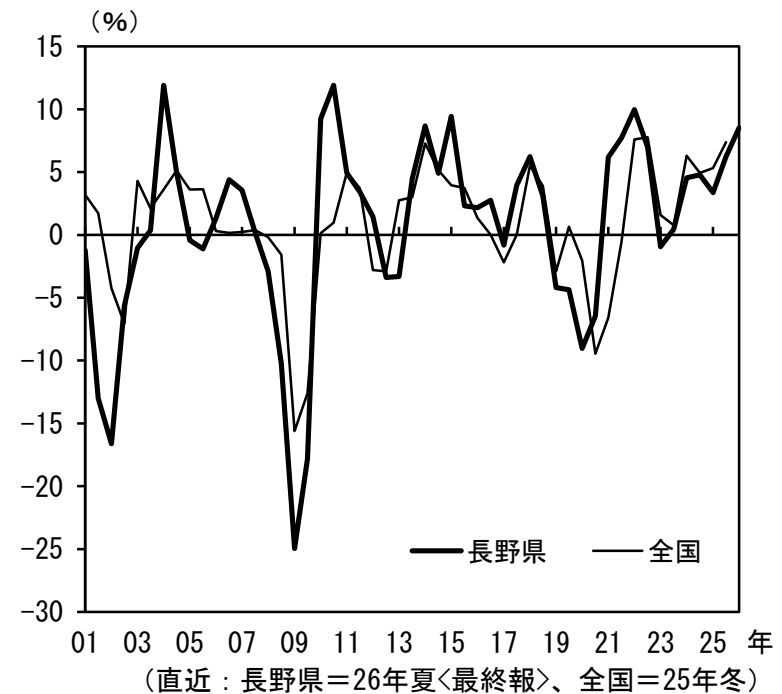
▽ 所定内給与（前年比）



(注) 一般労働者の所定内給与。事業所規模30人以上のベース。

(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）



(出所) 長野県：長野県「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」

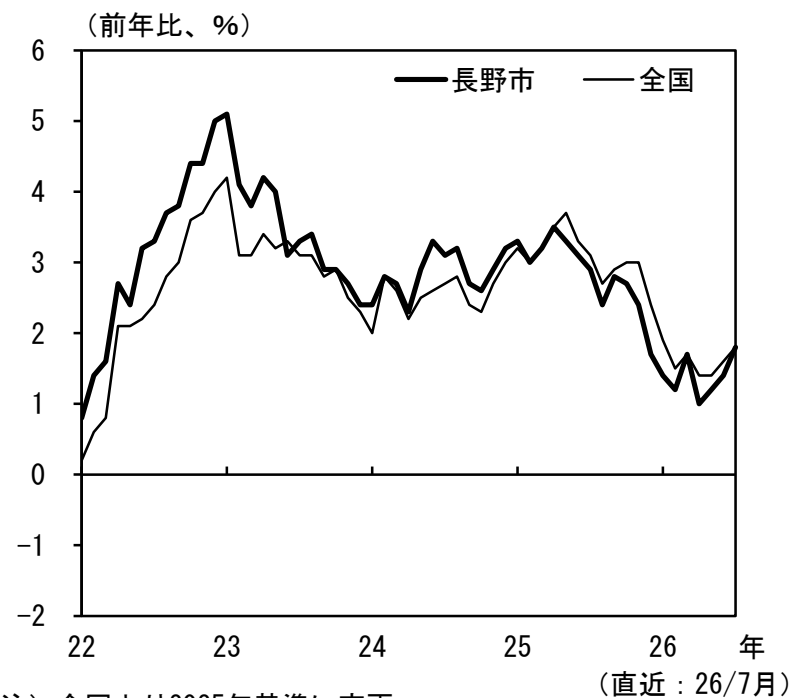
全国：厚生労働省「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、26/7月は前年を上回っている。

▽ 消費者物価指数（除く生鮮食品）

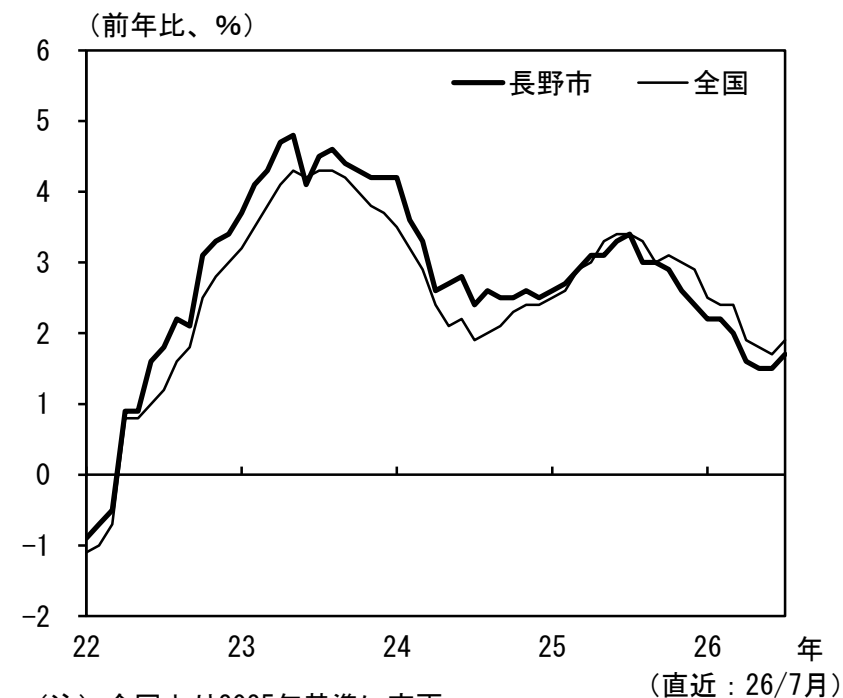


(注) 今回より2025年基準に変更。

ただし、25/12月以前は旧基準ベース。

(出所) 総務省、長野県

▽ 消費者物価指数（除く生鮮食品・エネルギー）



(注) 今回より2025年基準に変更。

ただし、25/12月以前は旧基準ベース。

(出所) 総務省、長野県

2. 金融

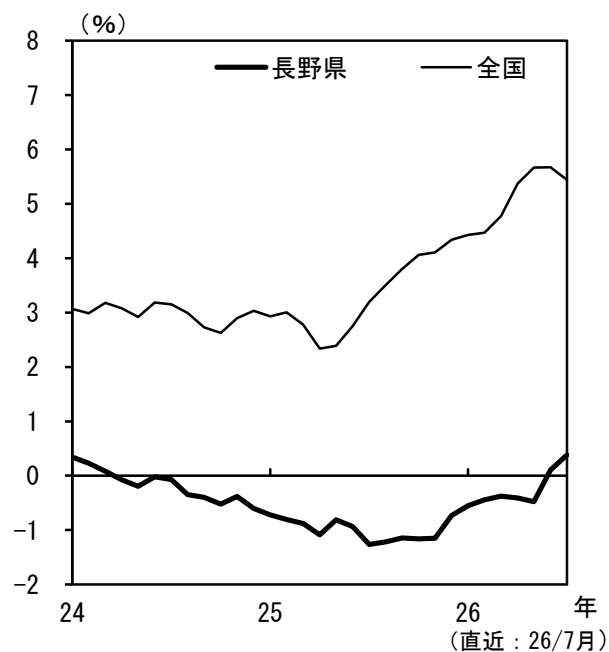
貸出金・預金

貸出残高は、前年比で0%台前半のプラスとなっている。

貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。

預金残高は、前年比で1%台のプラスとなっている。

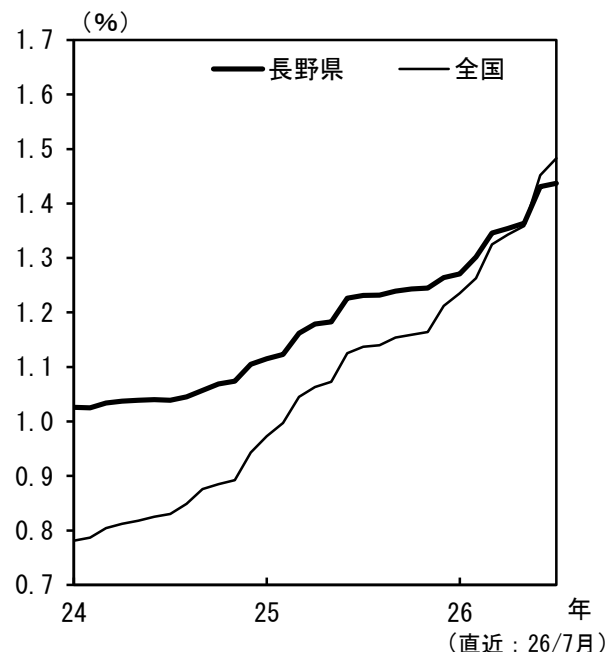
▽ 貸出平残（前年比）



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、SBI新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行

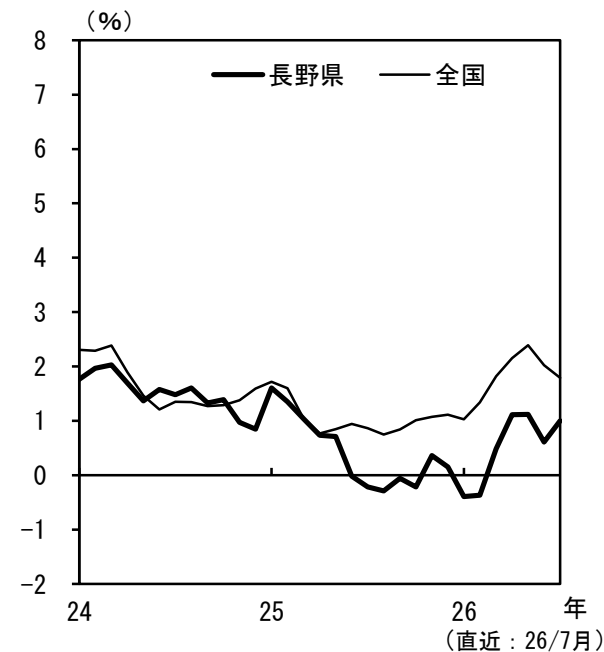
▽ 貸出約定平均金利（ストックベース）



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

(出所) 日本銀行

▽ 預金＜実質＞平残（前年比）



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+CD）。

・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行